

## [第2回物流・港湾厚生施設指定管理者選定委員会議事録]

- (1)日 時：平成17年9月9日（金）14:00～17:30  
(2)場 所：産業貿易センタービル6階応接室  
(3)出席者：來生新委員、塩畑英成委員、富田功委員、松橋幸一委員、三縄昭男委員

### 1 議題（概要）

- (1) 報告事項について
- (2) 審査方法について
- (3) 書類審査
- (4) ヒアリング
- (5) 意見交換
- (6) その他

### 2 委員意見等

(1) 報告事項

（事務局説明）

- ・選考過程の透明性を確保するため、指定管理者制度の選定に係る委員会の議事録等について原則公開になる旨を報告（応募書類については差し支えない範囲で公開）。
- ・応募状況、応募者からの質問及び回答内容について説明。
- ・応募者の資格、添付書類の確認については書類受付時に事務局が行い、適正であった旨の報告。

(2) 審査方法について

（事務局説明）

- ・採点にあたり、基本的な審査の考え方については、各施設とも応募者が1者であったため、各応募者が指定管理者としてふさわしい団体であるかどうかを書類審査とヒアリングにより審査してもらいたい。
- ・前回の選定委員会で定めた「評価項目及び配点」に従って、まず書類審査を行い採点し、その後ヒアリングを実施し、採点を修正する。各委員の平均を評価点とした。

（結果）委員の一致した意見により了承された。

- ・各委員の採点后、意見交換を行い、この意見をもとに、最終的に第3回選定委員会で評価ポイント、選定理由としてとりまとめたい。

(応募者の財務状況等についての解説)

財務指標の安全性については、3団体とも民間企業よりも良い結果となっており、問題ない。効率性については、各団体の規模によりその特徴が良く出ている。

(3)～(4) 書類審査・応募者ヒアリング

委員による書類審査、応募者に対するヒアリングを実施。

(5) 採点及び意見交換

- ・各応募者が全体的に7割の評価を得たことは、候補者にふさわしい団体といえる。
- ・既に管理を行っている団体として実績を蓄えているとともに、基本的な知識、体制が備わっており、安心感があつた。
- ・各団体ともそれぞれ会員を抱えており、理事などの意見を聞きながら管理運営業務を行っているため、利用者側からのチェック機能が働いている。
- ・横浜港ターミナル運営協会の業務体制について、多様な業務内容を限られた人員で効率的に行うため、人員配置を工夫している。
- ・総じて、管理運営における新しい提案については、あまり具体的なものが見受けられなかったが、これらの施設は、港湾利用団体・業者が対象となるため、一般的な市民利用施設とは異なり、新規の参入も経済的な採算性などから難しい状況もあり自由な提案が出にくい領域だと考えられる。
- ・今後の課題として、管理運営業務の透明性を確保するため、各団体の事業の中で該当部分の財務的な数字の管理やさらなる収支計画の改善をお願いしたい。
- ・結果として、現在、管理運営を行っている団体が候補者として残ったが、指定管理者制度による選考過程を経ることで、応募者にとっても、これまでの業務を見直すよい機会となったものと思われる。

(6) 次回の日程について

次回の委員会では、候補者の選定、選定報告をとりまとめる。

⇒ 次回の日程は平成17年10月3日14時からで決定。

### 3 審議結果

- ・ 各施設について1団体ずつの応募があり、それぞれの提案について書類審査、ヒアリングを実施した。
- ・ 採点及び意見交換を行い、各応募者について、基本的な知識、体制が備わっているなどの意見が出た。
- ・ 各委員の採点の平均を評価点とし、次回の委員会で最終的な審査を経て、候補者を選定する。あわせて選定報告をとりまとめることとなった。

—了—